



◆新年度を迎えて

OPE年次更新に関して、ご対応いただきありがとうございました。今月は、新規採用や他自治体から異動された先生方に向けて、山陽小野田市小中学校で利用頻度の高い「すららドリル」と「ロイロノート」について、どのようなものなのかをご説明します。

◆「すららドリル」のご紹介

すららドリルはクラウド型の学習教材です。児童生徒らが自身で問題を選んで自分の学力に応じて学習することができ、また先生が選んだ範囲から問題を出題することもできます。すららドリルは「指導者用」と「児童生徒用」で大きく画面が異なります。

指導者画面 問題の出題や各種設定が行えます。児童生徒がどれほど学習を行っているかの確認もできます。	児童生徒画面 問題を選ぶボタンやゲーミフィケーション機能のたまごがあります。先生からの課題も確認できます。
--	--

◇出題される問題について

すららドリルは「ユニット」と呼ばれる単位で単元が分かれています。先生が出題する場合も、児童生徒が自分で学習する場合も、このユニットが基準となります。

レッスン1 たしざん①	たしざんのしき	ユニット1
	たしざんのけいさん	ユニット2
	0のたしざん	ユニット3
	たしざんのぶんしょうだい①	ユニット4

※小学(低学年)・算数のユニット例

先生は、複数のユニットを期限付きで児童生徒へ送ることができます。**Chromebook**の持ち帰りに合わせて期限を設定しておくと、宿題としてすららドリルを利用できます。ユニットの内容と並び順は、すららドリルで決められたものですが、順番については教科書で習う順番に並べ替えることもできます。教科書で習う順番に並べ替えたとしてもユニットの内容は変化しませんので、習っていない問題が出題される場合があることに注意が必要です。

◇新機能「ゲーミフィケーション」について



最近のアップデートで、児童生徒画面に「たまご」が表示されるようになりました。たまごには「いつまでに〇〇のユニットをクリア」や「〇〇の範囲のユニットをすべてクリア」などの目標が設定されています。目標をクリアした後に、たまごをクリックするとアイテムやポイントが入手でき、楽しく学習することができるような仕組みになっています。

機能の有効無効の切替や、機能を使用できる時間を制限するなど、細かな設定も可能となっていて、指導者画面の「設定」より変更が可能です。

●ゲーミフィケーション機能設定	
ゲーミフィケーション機能の利用設定	☐
学習目標での制限	☐
マイページの公開設定	☐
1回の利用時間の制限 (ユニットをクリアすれば、再度利用可能)	☐
1日の利用時間の制限	☐
利用可能な時間を指定する	☐
利用不可能な時間を指定する	☐

◆「ロイロノート」のご紹介と活用方法について

ロイロノートは、カラフルで多機能なカードを作成することができ、文章を入力したり、手書き機能で絵を描いたり、音声を録音するなどの操作が可能です。また、カードを繋げて順番や流れを考えたり、カードを移動させて分類分けをするといった「思考を可視化して、思考・判断・表現の育成」を図ったり、作成したノートやカードをクラス内に共有して「協働学習」として活用することもできます。

思考を可視化して、思考・判断・表現を育成

学習履歴の蓄積 + 授業の全てを蓄積すると学びの作品ができます。カードを整理することで振り返り、学習意欲が溢れ出ます。 さらに詳しく >	つなげてプレゼン + カードの中にカードを入れて組み合わせたり、カードをつなげてスライド完成。短い時間で発表できます さらに詳しく >	シンキングツール + 思考ツール上にカードを置くことで、アイデアの発散と収束を行い、考えを作り出すことができる さらに詳しく >	協働学習 + 1枚のノートを複数人で共有して協働で編集します。グループで協働しながら作成します。生徒同士のファイル交換も簡単です。 さらに詳しく >
--	---	--	--

※ロイロノート公式HPより(<https://n.loilo.tv/ja/#1>)

<シンキングツールの一例>

<ベン図> カードの関連を考えるような場合に利用	<XYチャート> カードを分類するような場合に利用	<ピラミッドチャート> カードを順位付けするような場合に利用	<クラゲチャート> 一対多のカードのつながりを考えるような場合に利用

操作方法や設定などでお困りの際は、ICT支援員までお気軽にご相談ください